

平成29年度 調布市立神代中学校 学校評価報告書

様式

領域	自己評価結果の概要	学校関係者評価結果の概要	次年度への改善策	次年度優先順位
学力向上	<ul style="list-style-type: none"> 1、2年生で数学の習熟度別学習を行った結果、3年生で行った全国学力調査、2年生で行った東京都の学力調査とも、全国や東京都の平均を上回る成績であり、習熟度別学習の効果が図られたと考えられる。 生徒による授業評価を1学期末と2学期末に実施し、授業改善推進プランに活用した。保護者、学校評議員による授業評価は実施できなかった。 週1回校内委員会を開催し、支援の必要な生徒に対する具体的は手立てを、組織的に検討することができ、生徒の支援に役立った。 特別支援教育に関する研修会を長期休業中に開催できなかった。 9月に数学、理科、英語の研究授業及び協議会を実施した。主体的・対話的で深い学び合いの授業をテーマに行ったが、3教科ともテーマに合った授業を行うことが出来、他の教員に対して良い効果をもたらした。 	<ul style="list-style-type: none"> 校舎増築が終わる再来年度から、数学、英語を全学年で少人数授業を実施することなので、より学力の向上につながればと思う。 特別な支援を必要とする生徒に対して、組織的に支援の方法を考えられるようになったことはよい。 授業参観をしていて感じるのは、生徒が落ち着いて授業を受けていることだ。規律ある授業が学力の向上につながっているとも感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の授業評価は、授業参観日に必ず用意し、できるだけ多くの方をお願いする。 特別な支援を必要とする生徒に対して、更に校内委員会を充実し、組織的に対応できるようにする。 授業規律をしっかり保ち、教員の研修を充実させ良い授業ができるようにしたい。 	A
	<ul style="list-style-type: none"> 各学年で朝学習、朝読書を計画的に実施した。 ボランティアによる数学の放課後学習は対象生徒にのみ実施。回数は30回程度で目標の回数は実施できなかった。 複数の生徒を同じ時間に取り出しによる授業を行うので、一つの教室では難しいことが多くあり、ボランティアの確保もそうだが場所の確保が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアの募集で苦勞しているということだが、教科の得意な生徒が先生役になって自分達で学習するという方法もある。 	<ul style="list-style-type: none"> 次年度も、各学年とも朝学習、朝読書を計画的に実施し、落ち着いた気持ちで授業に臨めるようにする。 取り出しによる授業の対象生徒が増加した場合には、生徒個々に取り出す時間を指定し、教室不足を解消する。 	B
健全育成	<ul style="list-style-type: none"> 生徒アンケートから「学校が楽しい」と答えた生徒の割合が、どの学年とも約88%であった。昨年は2年生以外90%を超えていたので数値が下がった原因を検証する必要がある。ただ、「悩みを聞いてくれる友達がいる」と答えた生徒が、全学年とも90%を超えていたので、これは良かったと思う。 生徒アンケートから「思いやりの心を持って人と接している」では、全体の平均が95%であり、目標が生徒の心に浸透していると思われる。 国際的なマナーやエチケットに関する講演会は3月3日に3年生で、3月14日に1年生と2年生で実施予定。オリンピック・パラリンピック教育の一環でもあり、外国人を迎えたとき役立つようにしたい。 2月16日に1年生で留学生が先生を実施予定。今年で最後の留学生が先生になるので、充実した内容にしたい。 あいさつについて重点的に取り組んでいるが、生徒アンケートから「あいさつができ基本的な生活習慣が身についている」と答えた生徒の割合が全体で97%あり、今後もしっかりあいさつのできる学校を実践していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校に来ると生徒からあいさつをされて気持ちがよい。あいさつを重点的に取り組んできた結果だと思う。 「君たちはどう生きるか」という本がベストセラーになっている。漫画でも出ているので、学校でも取り上げ生徒に勧めると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> あいさつの励行を今後も積極的に取り組み、良好な人間関係作りを強化する。 安全で安心して通える学校づくりを生徒ともに推進し、学校が楽しいと言える生徒の数を増やす。 図書館司書と連携し、おすすめ本を生徒に積極的に紹介する。 	A
	<ul style="list-style-type: none"> 昨年同様職場体験前に2年生でハローワークの職員による職業講話を行った。また、1学期3年生で上級学校の教員による出前授業を実施し、卒業後の進路を考えさせた。 	<ul style="list-style-type: none"> もう少し地域の人材の活用を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育の年間指導計画に、地域人材を活用した授業を入れる。 	C
健康・体づくり	<ul style="list-style-type: none"> 生徒アンケートから「学校の清掃活動がしっかり行われている」に対して全体平均で97%の生徒が肯定的な意見であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後もしっかり取り組んでもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳等も利用し、学校生活において環境整備が重要であることを子ども達に気づかせ、今後も清掃活動等しっかりできるようにする。 	B
	<ul style="list-style-type: none"> 10月にサッカーの元オリンピック選手であった釜本邦茂氏をお呼びし、夢や目標を持つことの大切さについて講演をいただいた。 学校保健委員会を10月に開催し、健康診断結果を基に神代中学校の生徒の健康状態について話題にした。歯科受診が非常に低いことから、朝礼や学校たよりも歯の重要性について話題にした。 	<ul style="list-style-type: none"> 講演会で予算がかかりすぎるということであれば、調布には拓殖大学の合宿所もあり、箱根駅伝でも活躍しているので、そうした方々を講演会に招聘するのもいいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 予算や地域人材等の活用も含め、年間計画を4月中旬に決定し、充実したオリンピック・パラリンピック教育を進める。 	A
保護者・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> 70周年実行委員会を中心に、保護者、地域等の皆様にご協力のおかげで70周年記念行事を全て無事に終了することが出来た。 70周年記念ロゴマークやポスター掲示等の活動を通して、神代中が地域に支えられていることや70周年行事に全校で取り組んでいる事を理解させることが出来た。 生徒アンケートから「神代中学校生徒であることに誇りを感じている」に対して、肯定的な意見が1年から3年生は79%、10組は89%だった。3年生は昨年と同じ、2年生は9%減少した。自分の学校に誇りが持てるように生徒ともに取り組みたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「誇り」という言葉が生徒には難しいのかもしれない。「神中生であることに満足している」など、もう少し生徒に分かりやすい質問に変えてもいいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの文言を見直し、生徒に分かりやすいアンケートにする。 	C
	<ul style="list-style-type: none"> 学校だよりについてほぼ月1回発行した。また、各学年とも定期的に学年だよりを発行し学年の情報発信に努めていた。 9月ホームページが調布市内の学校で統一され、学校内で簡単に編集・更新できるようになったので、今後更に充実させたい。 学校施設内の安全点検は月1回実施した。 自転車登校時や部活動で使用の際にヘルメットをしっかりかぶるよう指導したが、徹底までには至らなかった。今後もしっかり取り組んでいきたい。 部活動の終了時刻についてはほぼ守ることができた。文科省から部活動について、平日は2時間、土日は3時間程度という指針も出たので神代中学校としてどうするか改めて検討したい。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信は大事なので、ホームページの更新や各種たよりを定期的に行ってほしい。 ヘルメットの着用は確かに定着してきた。後は、学校が言うように、繰り返してしっかりかぶるよう呼びかけを続けることが大事だ。 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページの更新はタイムリーに行う。 学期1回程度朝教員による地域の見回りを実施し、ヘルメットの着用をしっかりとさせ、安全を図る。 	B
特色ある教育活動	<ul style="list-style-type: none"> テーマを毎回決め、職員会議後にOJTを実施し、職員の資質向上に努めた。 食物アレルギーに関する研修会は、年間3回実施した。そのうち1回は、配役を決めシミュレーションにそった研修を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的にOJTを行い、教員の資質向上を図っていることは良い。ぜひこれからも続け、お互いに力を高め、生徒の取って良い教育をしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 4月当初の職員会議に教員研修会やOJTの年間計画を提示させ、計画に沿った研修会を実施する。 	B
	<ul style="list-style-type: none"> 生徒アンケートから「学校行事に意欲的に参加している」に対して肯定的な意見は全ての学年で90%を超え、全体平均も96%であった。また、「部活動に意欲的に参加している」に対して肯定的な意見は、10組を除く全ての学年で90%を超えていた。 夏季休業中のPTA主催の美化活動や地域運動会、防災訓練等に生徒や教員を可能な限り参加し地域との連携を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 上ノ原まちづくり協議会の防災訓練や、北ノ台小学校地域運動会に組織的に参加していることもありがたいが、それ以外にも、上ノ原地域ではジュニアリーダーとしてボランティアで参加している生徒や、深小キャンプに参加している生徒も多い。 北ノ台まちづくり協議会の防災訓練はいままで、ボランティアの参加をお願いしていなかったが、これからは呼びかけをしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 可能な限り地域行事に生徒や教員を参加させ、地域との連携を図る。 来年度もPTAと連携し、夏季休業中に校内美化活動を実施する。 	A